

実行委員長
あいさつ

春季大会実行委員長からご挨拶

成田 吉弘 北海道大学 教授



第9回日本感性工学会春季大会は、2014年3月22日(土)と23日(日)の二日間にわたり、北海道大学工学部を会場に開催されることになりました。大会テーマは、「創発デザインとあずましい感性」です。

感性工学には、創発に関わる2つの側面が見出せるかと思えます。ひとつは、対象とする感性そのものが創発的現象であることです。予想できない創発的現象をさまざまな視点から明らかにし、捉えた現象の利活用を提案し具現化することが、感性工学の一面といえます。工学全般においても、この十数年、創発的現象とアプローチが、情報工学を中心に発展し、今では機械工学の設計分野の講義でも採り上げ、若い学生たちが普通に、ニューラルネットワーク、遺伝的アルゴリズム、群知能などの概念を用いた手法を利用しています。

もうひとつは、感性工学の活動が、多くの分野にわたる研究者たちによる創発的現象であることです。哲学、教育、心理、芸術、経済、経営といった人文・社会科学系から、医学、生理学、材料、機械、情報、システムなどの自然科学・工学系までの知識を融合させることで、これまでに予想できない成果が次々と誕生しています。こうした感性工学の活動を、本大会では「創発デザイン」と捉えました。

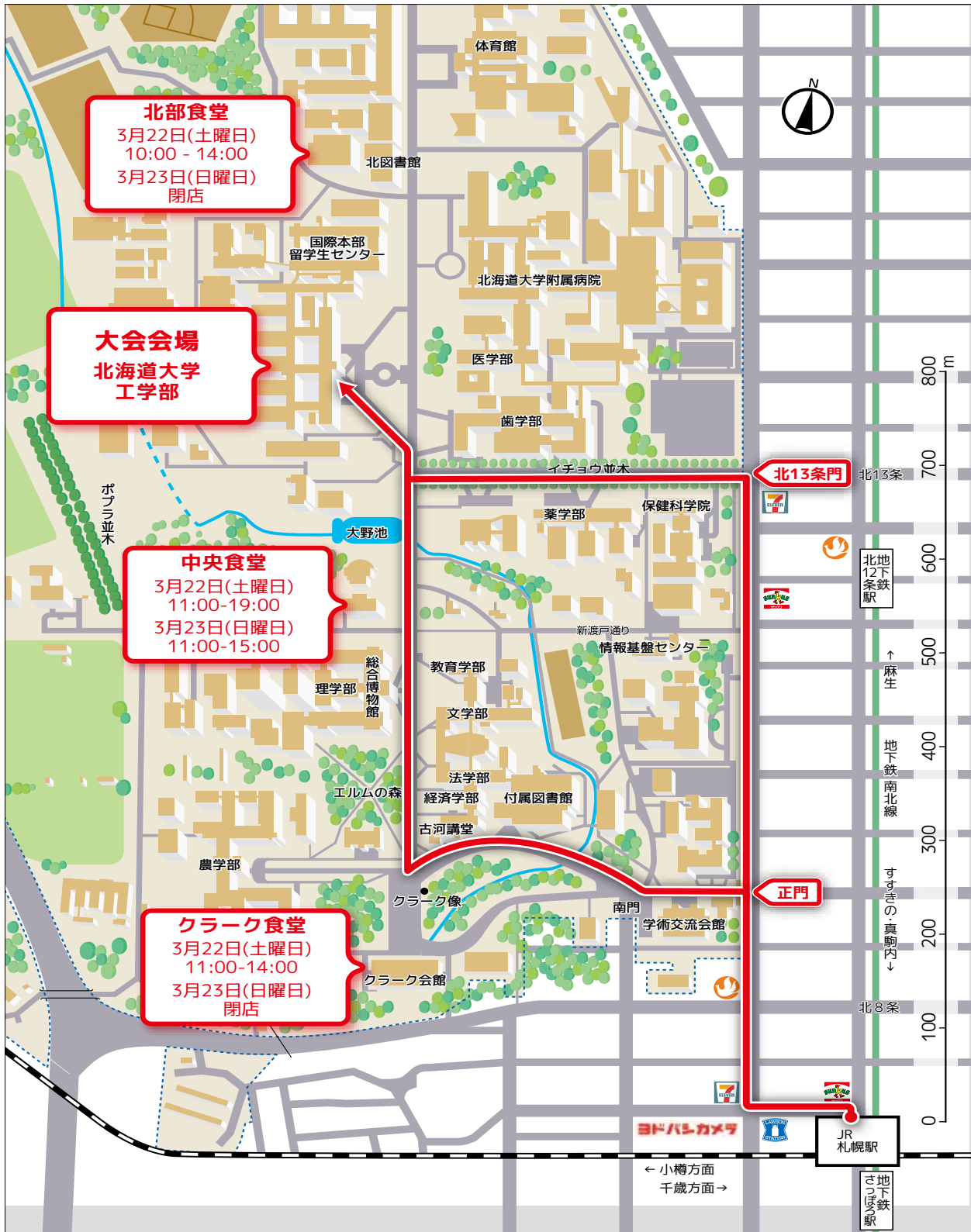
勿論、感性工学を含めた工学の目標は、人々の生活を豊かにすることです。ここ北海道には、「落ち着く、居心地が良い、せいせいする、素晴らしい」といった安堵感を意味する言葉として「あずましい」があります。この北海道でいうところのあずましい感性の探究することこそが、感性工学の目指すところではないでしょうか。

今回、北海道初となる感性工学会大会を開催するにあたり、「創発デザインとあずましい感性」をテーマといたしました。アイヌの言葉で「アイヌモシリ(ainu mosir: 人間の住む土地)」、江戸時代には「蝦夷地」とも呼ばれ、明治時代に開拓が進められた北の大地で、新しい時代に向けたあずましい感性について、皆様が交流を深めることによって創発していただきたいと願います。

感性工学会の皆様にとって、実りある大会となるよう努めさせていただきます。この冬から春の息吹を感じる三月の北海道へ、お越しいただいたことを深く感謝申し上げます。

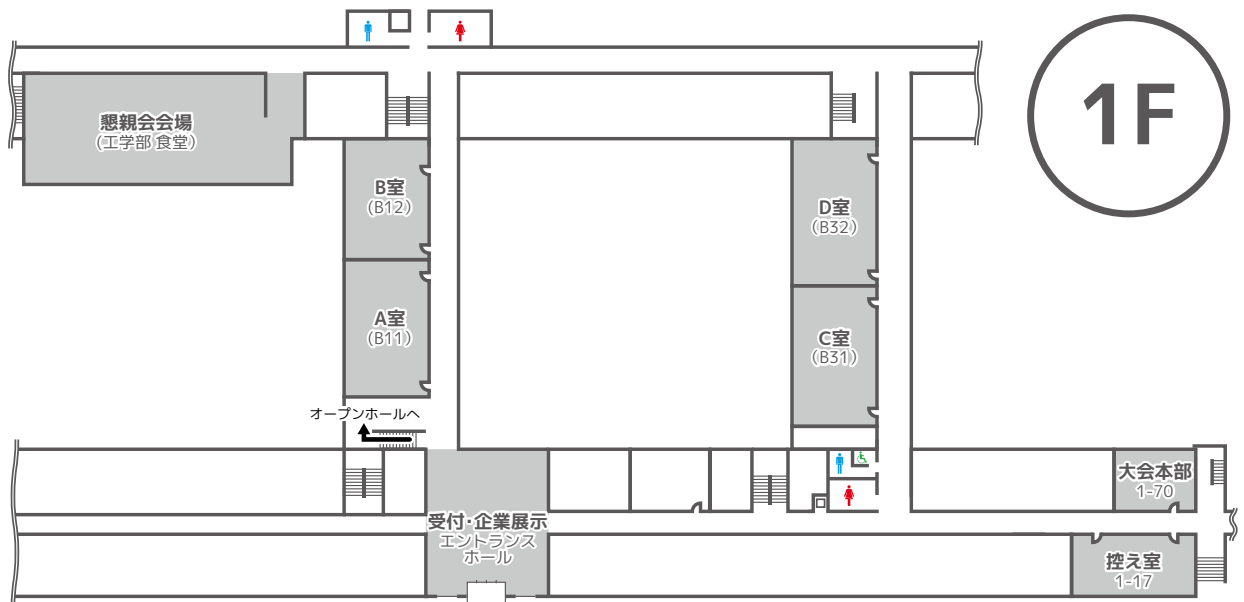
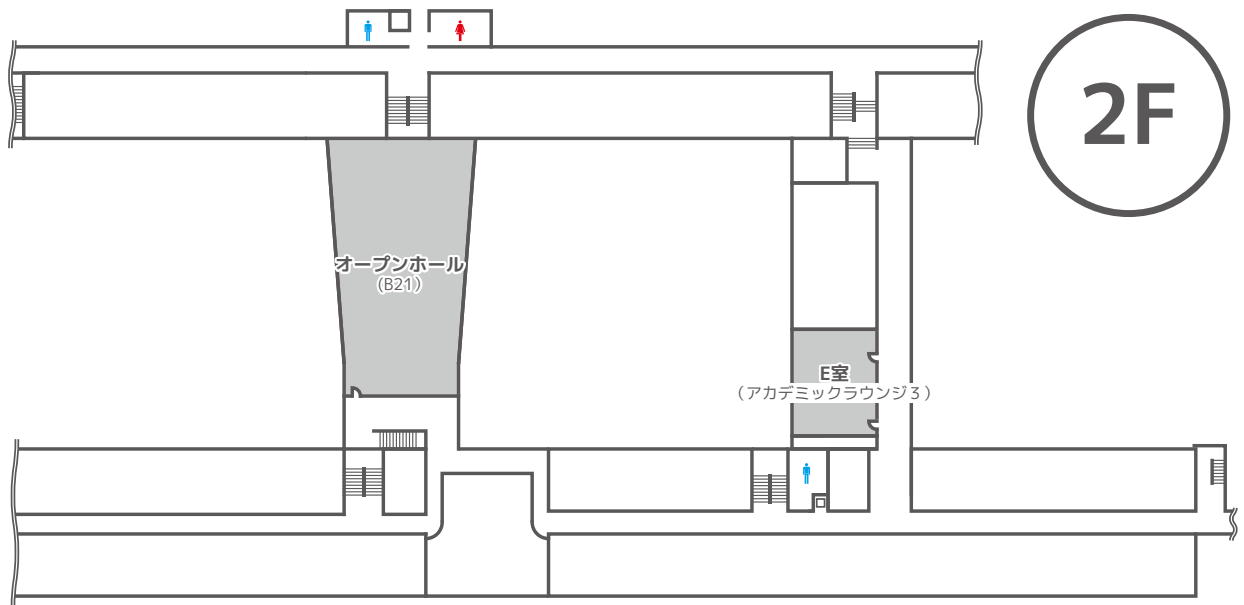
会場案内

北海道大学 工学部



会場案内

工学部内部



スケジュール 1

1日目
3月22日(土)

全室

	オープンホール (B21)	A室 (B11)	B室 (B12)	C室 (B31)	D室 (B32)	E室 (アカデミック ラウンジ3)	その他
8:30							受付開始
9:00						ポスターセッション 1	[工学部ロビー]
9:30		一般セッション 1A 測定・計測 I	一般セッション 1B インタラクション マルチメディア	一般セッション 1C コミュニケーション			
10:00				企画セッション 1-1 感性哲学部会			
11:30							昼食 北部食堂 10:00 - 14:00 中央食堂 11:00 - 19:00
13:00	開会式 表彰式						
13:30	特別講演 1 原田昭 先生						
14:30						ポスターセッション 1 コアタイム	
15:30						ポスターセッション 1	
15:45		一般セッション 2A ファッション 情報・ソフトウェア	一般セッション 2B デザイン I	企画セッション 2 あいまいと 感性研究部会	企画セッション 1-2 感性哲学部会		
17:00							
17:15							
17:30			特別セミナー				
18:00							懇親会 [工学部 食堂]
20:00							

スケジュール 2

2日目
3月23日(日)

全室

	オープンホール (B21)	A室 (B11)	B室 (B12)	C室 (B31)	D室 (B32)	E室 (アカデミック ラウンジ3)	その他
8:30							受付開始
9:00						ポスターセッション 2	[工学部ロビー]
9:30		一般セッション 3A 測定・評価Ⅱ	一般セッション 3B デザインⅡ	一般セッション 3C 視覚・触覚	企画セッション 3 而立の会		
11:30							昼食
12:00							中央食堂 11:00 - 15:00
13:00	特別講演 2 高橋泰城 先生						
14:00						ポスターセッション 2 コアタイム	
15:00						ポスターセッション 2	
15:10		一般セッション 4A 測定・評価Ⅲ	一般セッション 4B 脳科学	一般セッション 4C 音			
16:25							
16:40	閉会式						
17:00							

- 一般セッション： 一般セッションの一人あたりの発表時間は**発表12分、質疑3分**です。
- ポスターセッション： ポスター発表者は、**指定日のコアタイムの間は必ずポスターの側にいてください**。ポスターは**コアタイム指定日の午前9時から午後5時まで**掲示可能です。発表者自身が掲示し、**当日の午後5時には撤去してください**。
- 企画セッション： 企画セッションのスケジュールや進行は、**一般セッションとは異なる場合があります**。
- 控室： 大会期間中は、発表準備および休憩に**控室(1-17)**をご利用いただけます。

特別講演
1

1日目
3月22日(土)
13:30-14:30

オープン
ホール
(B21)

感性の創発

原田 昭 札幌市立大学 特任教授

前 札幌市立大学学長
元 筑波大学人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻長
元 日本感性工学会 会長



創発進化(emergent evolution)とは、生物進化の過程で、事前に全く予想できない形質の出現が生まれることである。これからの時代において文化はどのような尺度で測られるべきか、またその文化は収斂(convergent)してゆくのか、拡散(divergent)してゆくのかを展望することが求められている。オランダの社会学者ヘールト・ホフステード(Geert Hofstede, 1928-)は、社会生活・対人関係・職業活動などの領域における、人々が持つ価値観(価値基準)を国の文化や社会組織と関連づけて考察する比較文化論的な研究で知られている。彼は、50か国+3地域間の文化の距離が経年的に各国の価値観が収斂しているという証拠はほとんど見られないと述べている。現代において各民族集団は自らの文化的アイデンティティをあらためて認識するようになり、文化的差異がますます開いていく傾向にあるという。

創発とは、構成される要素の働きの集合からだけでは予想もつかない異質の新たな働きが生れ出ることをいう。たとえば塩水(液体)の熱が冷めると塩の結晶(個体)に転移することを相転移というが、このように結晶化は創発の一つの原理であるといわれている。

人間社会において、従来のような、トップダウンの組織で、論理優先の専門家のみによる判断により、役割分担が明確に義務付けられ、受動的な参加意識を持たされ、定められたルールに基づいて働かされるような、従来型の組織環境を根底から見直すことによって、21世紀の孕む複雑問題への解決の道がひらかれるに違いない。このような解決への扉を開くキイは、「感性の創発」という新たなキイである。感性の創発は一つだけの最適解の生成を目標としない。

特別講演
2

2日目
3月23日(日)
13:00-14:00

オープン
ホール
(B21)

心理物理学的神経経済学：なぜダイエットは明日からなのか

高橋 泰城 北海道大学 准教授

1996年、東京大学理学部物理学学科卒業
2001年、東京大学理学系研究科物理学専攻博士課程修了、博士(理学)
理化学研究所脳科学総合研究センター、東京大学総合文化研究科、
北海道大学文学研究科研究員を経て、現在、北海道大学文学研究科、
社会科学実験研究センター、脳科学研究教育センター准教授

意志の弱さと時間の認識との関連が、本講演のおもな内容である。近年の行動神経経済学の発展により、従来の経済学が仮定してきた人間の合理性の概念が変革されつつある。その一例として、異時点間選択(将来受け取る大きな報酬と今すぐ受け取る小さな報酬との間の選択問題)における「時間非整合性」の問題をまず紹介し、関連するアノマリー(標準的経済学の理論と実際の人間行動との乖離のこと)を紹介する。

これらの諸問題は、社会生活においては、薬物依存や摂食行動の問題、教育投資問題、自殺、犯罪などの社会問題とも関連しているため、その心理メカニズムや神経機構の研究は重要である。今回は、それらの解明のためのアプローチのうち、心理物理学と神経科学の知見を経済学的意思決定に適用して分析する理論を構築することによりこれらのアノマリーが説明できるということを紹介する。

さらに、同様のアプローチにより、リスク下の意思決定の主要なアノマリーや、利他行動における諸問題も説明可能であることを紹介する。最後に、今後の展望として、人間の「感性」の解明のために、神経経済学の理論や実験的知見がどのように役立つか、また、工学的応用の可能性についても議論する。

一般・企画
セッション
1

1日目
3月22日(土)
09:30-11:30

A室(B11)
B室(B12)

一般セッション1A [測定・評価I]

A室(B11)

座長： 工藤康生(室蘭工業大学)

- 1A-01 **Breakthrough in Measurement of Hair Volume and Frizz for Developing Hair Care Products**
一髪の毛のヴォリューム・乱れの三次元測定
Yoshiko NAKAO, Emiko Kato(Procter & Gamble International Operations, Singapore Innovation Center, R&D Analytical)
- 1A-02 **PP混紡編布の肌触り評価**
水橋秀章、吉田宏昭、上條正義(信州大学)、久保昌彦(ダイワボウノイ)
- 1A-03 **米菓の食感とシズル語の印象評価とその考察**
深瀧創、宮田一乘(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科)
- 1A-04 **生理心理応答の個人性に基づく製品設計法に関する基礎検討**
酒巻隼人、野澤昭雄(青山学院大学)
- 1A-05 **The Kansei Evaluation of Grip Handle Diameter**
Liu Pu(Division of Human Mechanical Systems and Design, Faculty of Engineering, Hokkaido University), Miyong Lee, Yoshihiro Narita(Graduate School of Engineering, Hokkaido University)
- 1A-06 **超高精細映像に対する感性的印象評価**
池田華子、田中智明、石山智弘、日高聡太、宮崎弦太(立教大学)
- 1A-07 **製品の「おしゃれ感」に関する事例研究-副素材の違いによる印象の変化**
島田亮(北海道大学大学院工学院)、李美龍、成田吉弘(北海道大学大学院)

一般セッション1B [インタラクション・マルチメディア]

B室(B12)

座長： 鳥宮尚道(札幌大谷大学)

- 1B-01 **タブレット端末における動画プレーヤーの直感的操作の試作と評価**
青木優太、張珏(工学院大学)
- 1B-02 **カオス性の異なる1/fゆらぎを用いた歩行のアニメーションの感性評価**
山田光宏、大内貴弘、西木戸亜美、箱崎翔太(茨城大学工学部)
- 1B-03 **聴覚障害児の算数文章題の理解を支援する視覚的教材**
松下史佳(筑波技術大学産業技術学部)、生田目美紀(筑波技術大学)
- 1B-04 **聴覚障害学生のための自習用Eラーニングシステムの評価**
永盛祐介、西岡仁也(筑波技術大学)、中島瑞季(産業技術大学院大学)
- 座長： 生田目美紀(筑波技術大学)
- 1B-05 **ユーザ介入型IGAを用いて作られたメロディにおける調性の調査**
古賀慎平、井上貴文(福岡工業大学大学院)、福本誠(福岡工業大学)
- 1B-06 **ロボット子供遊び戦略と生体指標による評価**
岩崎安希子(玉川大学)、下斗米貴之(玉川大学脳科学研究所)、阿部香澄、嶋原宏明、安東裕司、日永田智絵、アッタミムハンマド、長井隆行(電気通信大学)、大森隆司(玉川大学)
- 1B-07 **SD法を用いた感性表出プラットフォームロボットの印象評価**
作本佑輔、横沢和彦(千葉工業大学大学院)、新宅弘明、張谷朋弘、富山健(千葉工業大学)
- 1B-08 **マイクロブログにおける類似ユーザ投稿文章を利用したキーワード抽出**
田苗卓馬(工学院大学大学院工学研究科情報学専攻)、椎塚久雄(工学院大学情報学部)

一般・企画
セッション
1

1日目
3月22日(土)
09:30-11:30

C室(B31)
D室(B32)

一般セッション1C [コミュニケーション]

C室(B31)

座長： 柿山浩一郎(札幌市立大学)

- 1C-01 日本語拍の音象徴における身体感覚の関係性—メカニズムとその特性
吉見紫彩(神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
- 1C-02 抽象キャラクタによる感情を付加した仕草に関する研究
甲州 美加(東京電機大学院)、柴田滝也(東京電機大学)
- 1C-03 スクロール表示文黙読時の視線の動き—聴覚障害者、健聴者の比較
井上征矢(筑波技術大学)
- 1C-04 高齢者向けのコミュニケーションサービスデザイン研究
—コンテキストインクエアリー技法を用いたユーザー調査
石王美(岡山県立大学)

座長： 柴田滝也(東京電機大学)

- 1C-05 組合せ価値を考慮した商品推薦システムの構築
川崎雄太(中央大学大学院)、庄司裕子(中央大学)
- 1C-06 合意形成プロセスの主観的満足度に関する研究
柴田直(中央大学大学院)、庄司裕子(中央大学)
- 1C-07 対話相手をエージェントとする教示がパーソナリティ認知に及ぼす影響
近藤克也(工学院大学大学院工学研究科情報学専攻)、椎塚久雄(工学院大学情報学部)
- 1C-08 公共事業における住民の合意形成に関する考察
若井郁次郎(大阪産業大学)

企画セッション1-1 [感性哲学部会 感性と身体3]

D室(B32)

座長： 佐々木能章(東京女子大学)

- 1K-01 ゆるキャラの著作権トラブル—デザイナーと企画者と利用者の納得できる制作過程の考察
高山佳奈(工学院大学)、林真理(工学院大学)
- 1K-02 農村地域住民に対する大学生の共感を促すための物語り提示実験
長谷部正(東北大学)、小山田晋(山形大学)、木谷忍(東北大学)、阿部はるか(栃木県庁)
- 1K-03 技術教育における感性と身体II—教室に流れる時間を大切にす教材
松本金矢(三重大学教育学部)

一般・企画
セッション
2

1日目
3月22日(土)
15:45-17:15

A室(B11)
B室(B12)

一般セッション 2A [ファッション/情報・ソフトウェア]

A室(B11)

座長： 山下政司(北海道工業大学)

2A-01 繊維材料のドレープの新しい解析法

浅野(村木)千恵(安田女子大学)、浅野晃、棟安実治(関西大学)、藤本尊子(北海道教育大学)

2A-02 衣服設計における熟達/パターンメーカーの感性

金貝屋、高寺政行、大谷毅(信州大学)

2A-03 芯地による布剛性の変化がジャケットの着心地に及ぼす影響

杉山千尋、金貝屋、高寺政行(信州大学)

2A-04 有向グラフモデルによるAHP総合評価の実験的検討

玉置友一(千葉経済大学)

2A-05 統計値ベースIECと類似検索による配色検索システムとその感性伝達の効果

石橋 賢(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科・日本学術振興会特別研究員DC)、宮田一乘(北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科)

2A-06 旅行先における行動の一致をきっかけとしたコミュニケーション促進システム

河原崎杏菜(山梨大学工学部)、木下雄一郎、郷健太郎(山梨大学大学院医学工学総合研究部)

一般セッション 2B [デザイン]

B室(B12)

座長： 永盛祐介(筑波技術大学)

2B-01 パッケージデザインの価値創造に関する基礎研究

－板チョコレートの嗜好度調査と眼球運動計測を通して

宇佐美沙姫(札幌市立大学大学院)、城間祥之(札幌市立大学)

2B-02 webを実体化するプロダクトの提案と評価

大坪一仁、金石振(首都大学東京)

2B-03 感性評価を活用したデザイン支援イノベーションと地域再生

森豊史(東京都立産業技術研究センター)

2B-04 現代の日本家庭へ向けた食器使用の機会を生み出すプロダクトの提案

－箱膳のリバイバルによるハレの食卓の創出

齋藤智成、金石振(首都大学東京)

2B-05 ビジュアルマップを活用した食品パッケージデザイン開発プロセス

－SOMツールの実践導入に向けて

万城目聡、日高青志、橋場参生(北海道立総合研究機構 産業技術研究本部 工業試験場)

2B-06 日常生活におけるモバイル充電システムの提案

－スマートフォンでのコミュニケーションの特性を活かした充電プロダクト

宮田直輝、金石振(首都大学東京)

一般・企画
セッション
2

1日目
3月22日(土)
15:45-17:15

C室(B31)
D室(B32)

企画セッション2

C室(B31)

[あいまいと感性研究部会 高齢社会における諸問題への感性工学的アプローチ]

座長： 椎塚久雄(工学院大学)

2K-01 超高齢社会における社会的孤立の現状と評価

椎塚久雄(工学院大学情報学部)

2K-02 高齢社会問題の評価への数理的アプローチ

ーソフトコンピューティングの手法を用いた高齢社会問題の評価

椎塚久雄(工学院大学情報学部)

2K-03 人の気持ちとファジィ集合・ファジィ測度

ー超高齢社会における諸問題の評価へのファジィ理論の応用

椎塚久雄(工学院大学情報学部)

2K-04 集団へのスケールフリー・ネットワークの適用とその有用性

佐藤大将(工学院大学情報学部情報デザイン学科)、椎塚久雄(工学院大学情報学部)

2K-05 組み合わせ価値が与える評価法について

庄司裕子(中央大学理工学部)

企画セッション1-2 [感性哲学部会 感性と身体3]

D室(B32)

15:45 ~ 16:00 感性哲学部会総会

16:00 ~ 17:15 講演会+フリー・トーク

講演者：和泉晶裕氏(北海道開発局建設部道路計画課長)

一般・企画
セッション
3

2日目
3月23日(日)
09:30-11:30

A室(B11)
B室(B12)

一般セッション 3A [測定・評価II]

A室(B11)

座長： 細谷多聞(札幌市立大学)

- 3A-01 順序選好を用いた製品評価手法の提案
井上勝雄、阿草圭(広島国際大学)、濱松雄希(広島国際大学大学院)
- 3A-02 化粧品のべたつき特性の数値化とその官能評価スコアとの関係
金井宏行、本間成二、奥住佳子(花王株式会社)
- 3A-03 ソーシャルゲームにおける面白さの評価について
四方光輝(工学院大学情報学部情報デザイン学科)、椎塚久雄(工学院大学情報学部)
- 3A-04 衣服の動作快適性評価のための基礎的研究
堀場洋輔(信州大学)、日々野雄基(信州大学大学院)、乾滋(信州大学)
- 3A-05 購買行動に着目した少ない負担で嗜好学習するシステムの提案
田島輝将(中央大学理工学研究科)、加藤俊一(中央大学理工学部)
- 3A-06 自己組織化マップを用いた土壌の色彩に関する研究
土屋敏夫(下関市立大学)
- 3A-07 Emotivを用いた視線入力装置の開発1
出木原裕順、岩城達也(広島国際大学)

一般セッション 3B [デザインII]

B室(B12)

座長： 及川雅稔(北海道立総合研究機構)

- 3B-01 自動車の外観デザインの魅力に関する評価および被験者特性の検証
渡邊翔太(北海道大学大学院工学院)、李美龍、成田吉弘(北海道大学)
 - 3B-02 デジタル機器におけるロングライフ性の研究
—家庭用ゲーム機を対象としたモジュール化による組立性・分解性設計とシステム提案
寺井勝美、金石振(首都大学東京大学院)
 - 3B-03 地域文化産品「焼酎」におけるメタ・マーケティングの意義と課題
坂口光一、小野村頼子、古元(九州大学)
 - 3B-04 Modular space design for city home
Chris CHEN, Kim Seokjin(Tokyo Metropolitan University)
- 座長： 中島瑞季(産業技術大学院大学)
- 3B-05 ものの形状と主観的重量感に関する研究
嶋村祐介(北海道大学工学部)、李美龍、成田吉弘(北海道大学)
 - 3B-06 挿絵がライトノベルの登場人物の印象に与える影響
桜井将人、高崎文武、繁在家潤、山田真司(金沢工業大学)
 - 3B-07 人と長く付き合えるプロダクト—パルプモールドを利用した汎用性の高い家具の検討・提案
内藤有紀、金石振(首都大学東京)
 - 3B-08 広告における擬人化表現に関する研究
金 キン(九州大学院芸術工府)、森田昌嗣(九州大学大学院芸術工学研究院)

一般・企画
セッション
3

2日目
3月23日(日)
09:30-11:30

C室(B31)
D室(B32)

一般セッション 3C [視覚・触覚]

C室(B31)

座長： 井上征矢(筑波技術大学)

- 3C-01 素材から受ける質感評価のモデル化—両眼視差に基づいた画像特徴量の応用
青山祥貴、高橋直己(中央大学大学院理工学研究科)、加藤俊一(中央大学理工学部)
- 3C-02 三次元空間内におけるPseudo-Hapticsの特性と速度変化知覚の関係
佐藤秀一(富山大学大学院)、石井雅博(札幌市立大学)
- 3C-03 表示面の角度によるFick錯視の変調
木下義成(富山大学)、石井雅博(札幌市立大学)
- 3C-04 触覚によるシリコンゴムの硬さの違いに対する感性評価
栢割隆之、張珏、管村昇(工学院大学)
- 3C-05 振動特性の違いが触感に与える影響—快適さと分かりやすさに関する感性評価
白川祐嗣(北海道大学工学部)、李美龍、成田吉弘(北海道大学)
- 3C-06 Haptic Invitationでは合理的な触察動作が自動選択される
永野光、岡本正吾、山田陽滋(名古屋大学大学院工学研究科)

企画セッション 3 [而立の会]

D室(B32)

座長： 福本誠(福岡工業大学)

- 3K-01 触知と把握の動作を誘導する「能動アート」による気分の変化
吉岡聖美(筑波大学)
- 3K-02 変形浮きだし文字の触認知特性
水戸和幸、原野史帆(電気通信大学)
- 3K-03 興味度と性格の推定システムに関する検討
下斗米貴之(玉川大学脳科学研究所)、岩崎安希子(玉川大学大学院)、阿部香澄(電気通信大学大学院)、
長井隆行(電気通信大学)、大森隆司(玉川大学・玉川大学脳科学研究所)
- 3K-04 歩行者事故削減に対する取り組み—飛び出し時の特徴抽出
中村一美(近畿大学)、露木章史(マツダ㈱)、山崎慎也(マツダ㈱)、田中一基(近畿大学)
- 3K-05 仮想現実と拡張現実を構築するマルチモーダルディスプレイの開発
水野統太(電気通信大学)、前田潤、久米祐一郎(東京工芸大学)
- 3K-06 論理簡単化技術と階層的クラスタリングを用いた日本語文章の著者推測の試み
工藤康生、安田久美(室蘭工業大学)、高木昇(富山県立大学)
- 3K-07 「心拍-音楽」フィードバック・システムにおける心拍動引き込み効果の検証
—アンビエント・フィードバック・システムの端緒として
野村収作(長岡技術科学大学)
- 3K-08 前額部皮膚温の非対称性の解析
野澤昭雄(青山学院大学)
- 3K-09 対話型進化計算による香り最適化手法の比較
福本誠、古賀慎平(福岡工業大学)
- 3K-10 対話型作曲支援システムのための脳波測定による楽曲の主観的評価の試み
畦原宗之、嶋田拓真、山田耕一(長岡技術科学大学)
- 3K-11 ユーザの感性を広げるカラーコーディネート方法を用いたファッションコーディネートシステムの試作
荻野晃大(京都産業大学)

一般・企画
セッション
4

2日目
3月23日(日)
15:10-16:25

A室(B11)
B室(B12)

一般セッション 4A [測定・評価Ⅲ]

A室(B11)

座長： 井上勝雄(広島国際大学)

- 4A-01 ディスプレイ表面の触覚が表示される視覚情報にもたらす影響
柴田芽依、張珏(工学院大学)
- 4A-02 メールでの指導における個々人の教師に対する印象の推定
向谷地有(中央大学大学院理工学研究科)、加藤俊一(中央大学理工学部)
- 4A-03 SOMを用いたピクトグラムのわかりやすさに関する構成要素分析
—造形的構造と文法的構造による分類
櫻庭琢也(北海道大学大学院工学院)、李美龍、成田吉弘(北海道大学)
- 4A-04 買い替え購買行動の分析と支援に関する研究
川名雅也(中央大学大学院)、庄司裕子(中央大学)
- 4A-05 行動の文脈を考慮した状況のモデル化
大竹航平(中央大学大学院理工学研究科)、加藤俊一(中央大学)

一般セッション 4B [脳科学]

B室(B12)

座長： 下斗米貴之(玉川大学脳科学研究所)

- 4B-01 BCIのオンライン処理のためのターゲット判別指標
小泉佑磨、田中久弥(工学院大学)、大寺亜由美(北里大学東病院)、高橋(成田)香代子(北里大学医療衛生部)、
福田倫也(北里大学東病院)、浅井憲義(北里大学名誉教授)
- 4B-02 fNIRSを用いたBGMが知的作業に及ぼす影響の検討
高田翔太(中央大学大学院)、庄司裕子(中央大学)
- 4B-03 光トポグラフィを用いたデジタルサインージ上の視覚・言語情報への反応の分析
射手矢賢(中央大学大学院)、牧敦(日立製作所中央研究所)、加藤俊一(中央大学)
- 4B-04 作業療法を支援するための脳活動の時間周波数解析
小森谷祥太、田中久弥(工学院大学)、浅井憲義(北里大学 名誉教授)
- 4B-05 リスク選好の変化に関する神経経済学的考察—fNIRSを用いて
藤森裕美(青山学院大学)

一般・企画
セッション
4

2日目
3月23日(日)
15:10-16:25

C室(B31)

一般セッション4C [音]

C室(B31)

座長: 山田真司(金沢工業大学)

4C-01 音の協調による集中力向上法

今若卓也、上岡英史(芝浦工業大学大学院)

4C-02 楽曲再生中におけるBPM変化に対する知覚精度

伊東青、張珏(工学院大学)

4C-03 組合せ価値を考慮した楽曲推薦手法に関する研究

梶賢(中央大学大学院)、庄司裕子(中央大学)、荻野晃大(京都産業大学)

4C-04 ヒーリング音楽とBPMの関連性について

真鍋秀朗(工学院大学情報学部情報デザイン学科)、椎塚久雄(工学院大学情報学部)

4C-05 環境音提示が与える心象的空間イメージの広さに対する主観的評価およびその評価データに対する生体反応計測による客観的評価

首藤文洋、杉本皓司、久野節二(筑波大学人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻)

企業展示(エントランスロビー)

株式会社クリアクト

<http://www.creact.co.jp/>

株式会社ナックイメージテクノロジー

<http://www.nacinc.jp/>

キッセイコムテック株式会社

<http://www.kicnet.co.jp/>

株式会社デジタルメディック

<http://www.digital-medic.com/>

トビー・テクノロジー・ジャパン株式会社

<http://www.tobii.com/ja-JP/eye-tracking-research/japan/>

ポスター
セッション
1

1日目
3月22日(土)
14:30-15:30

E室
(アカデミック
ラウンジ3)

- P1-01 **砂絵を用いたワークショップの報告1**
奥山博文、植松賢治、石川絵莉子、花輪大輔、李知恩(北海道教育大学札幌校)
- P1-02 **砂絵を用いたワークショップの報告2**
植松賢治、奥山博文、石川絵莉子、花輪大輔、李知恩(北海道教育大学札幌校)
- P1-03 **女性のファッション誌, マンガ誌, アニメ誌の読書傾向の変遷**
新藤透、津谷篤(山形県立米沢女子短期大学)
- P1-04 **触感の意味的階層構造**
永野光、岡本正吾、山田陽滋(名古屋大学大学院工学研究科)
- P1-05 **最安値購買行動と実店舗の最低価格保証制度導入効果**
若山大樹、吉安美樹、國分輝幸、仁平博昭、長谷川奈美(駒澤大学)
- P1-06 **函館バスのウェブサイトについての一考察**
横山里奈、李知恩(北海道教育大学情報デザイン分野)
- P1-07 **教育実習「ふしぎなたまご」実践報告**
石川絵莉子、李知恩(北海道教育大学札幌校)
- P1-08 **ニンテンドーDSを使った大学生の英語学習の試み**
伴浩美(福井工業大学)
- P1-09 **妖怪の魅力に関する一考察**
平澤由來、李知恩(北海道教育大学情報デザイン分野)
- P1-10 **「パステルで曲を伝える」課題における描画表現
—他者による曲と描画とのイメージの照合に基づく考察—**
政倉祐子、若林尚樹、酒百宏一、菊池真之、板宮朋基、西野由希子、荻谷光晴、掛川茉祐(東京工科大学)
- P1-11 **ゆるキャラについての印象評価**
森田雄大、李知恩(北海道教育大学情報デザイン分野)
- P1-12 **握り手用表面材料のテクスチャ解析**
佐伯光哉(兵庫県立工業技術センター)
- P1-13 **ディスプレイ装置の高階調化による印象変化と画像コンテンツの関係性の検討**
井上未知美(宇都宮大学大学院、日本学術振興会特別研究員DC)、早乙女拓美(宇都宮大学)、佐藤美恵、阿山みよし(宇都宮大学大学院)、橋本直己(電気通信大学大学院)
- P1-14 **消臭剤のデザインに関する考察**
金谷真之介、李知恩(北海道教育大学函館校)
- P1-15 **ウェブサイトにおける「呼吸」と「安心感」に関する考察**
杉本晴香、李知恩(北海道教育大学情報デザイン分野)
- P1-16 **仮想物体に対する掴み動作に着目した拡張現実感システムの検討**
鈴木遼人(宇都宮大学大学院)、鈴木奏太(宇都宮大学)、佐藤美恵(宇都宮大学大学院)
- P1-17 **枕の素材の違いが寝心地と睡眠内容に及ぼす影響**
松浦倫子、安達直美、有富良二(株式会社エス アンド エー アソシエーツ)、杉田篤司(ロフテー株式会社)、田中秀樹(広島国際大学心理科学部)
- P1-18 **身体表現の授業におけるICT活用の実践について**
益井洋子(東京未来大学)、益井悠紀子(キャシーダンスカンパニー)
- P1-19 **企画セッション [志学の会] 2013年度活動報告**
日本感性工学会学生部会「志学の会」

ポスター
セッション
2

2日目
3月23日(日)
14:00-15:00

E室
(アカデミック
ラウンジ3)

- P2-01 **自然の色彩と人の感性に関する研究**
白土淳子(茨城大学大学院)、稲垣照美、李艶栄(茨城大学)
- P2-02 **タブレット端末を用いたSD法アンケート収集システムの開発**
本間康寛、川除佳和、竹下哲義(石川工業高等専門学校)
- P2-03 **音楽が文学に及ぼす作用に関する感性データの解析—文学作品による印象の変化について**
江曾時輝、奥田浩司、川除佳和、竹下哲義(石川工業高等専門学校)
- P2-04 **語の共起ネットワークから見たがん患者のTwitterツイート**
津谷 篤(山形大学大学院理工学研究科)、菅原 祐也(山形大学医学部)、田中 敦(山形大学大学院理工学研究科)、成松 宏人(山形大学大学院医学系研究科)
- P2-05 **ファッションエコ大学への取組み—学内残布ゼロ計画**
金尾佐知子、相田理恵(文化学園大学)
- P2-06 **ネクタイ売場におけるカラーユニバーサルデザイン**
小林未佳、三坂祐子、鈴木正文(文化学園大学)
- P2-07 **工学英語プログラムにおけるオーストラリア語学研修**
伴浩美(福井工業大学)
- P2-08 **CNV計測を用いたメンートル配合シャンプーによる集中度変化の評価**
橋本公男、北村奈津子(サンスター(株)H&B事業部 研究開発部)
- P2-09 **同時性判断における知覚的融合と同時性知覚**
岡崎聡、一川誠(千葉大学)
- P2-10 **不快動画と脳波の偏側性の検討**
山下政司、北間正崇、守田憲崇、有澤準二、清水久恵、相川武司(北海道工業大学)
- P2-11 **テキストマイニングとワードクラウドを用いた書籍感性情報の可視化**
小寺祥太郎、安岡晶子、石井雅博(札幌市立大学)
- P2-12 **錯視体験の新しい見せ方に関する検討と試作**
横田龍一、安岡晶子、石井雅博(札幌市立大学)
- P2-13 **Ext-HLACを利用した2次元画像分類法**
鈴木一史(放送大学・教育支援センター)
- P2-14 **聴覚錯聴刺激・知覚刺激による脳活動の観察**
沼尾亮佑、根本幾(東京電機大学大学院)、栗城真也(東京電機大学総合研究所)
- P2-15 **主体的な情報収集を促すインタラクティブな仕掛けのモデル化とその実践—福岡市中央区大名の紺屋2023 archive展を事例として**
猪口陽平、池田美奈子(九州大学)
- P2-16 **マイクロ波によるCNT添加エラストマーの加熱特性に関する研究**
山下義裕、塩谷拓也、徳満勝久(滋賀県立大学)
- P2-17 **駐車場における「迷い」の軽減**
高嶋啓(筑波学院大学)

特別セミナー

1日目
3月22日(土)
17:30-18:00

B室(B12)

今回の春季大会の特別企画として、懇親会の前のひと時、ワインセミナーを企画いたしました。北海道ワインの魅力を紹介頂き、18:00からの懇親会では北海道ワインを初め、様々なワインをお楽しみ下さい。

夢を力に ワインクラスター北海道

阿部 眞久 NPO法人ワインクラスター北海道 代表
シニアソムリエ
北海道フードマイスター
小樽ふれあい観光大使
小樽商科大学経営管理修士(MBA)



1974年宮城県仙台市生まれ、子どもの頃から両親の実家のある北海道に憧れを持ち、小学5年生のときには鉄道と青函連絡船を乗り継いで札幌までの一人旅をしたことが北海道の旅や食に興味を持つきっかけとなる。ホテルマンとしてソムリエ資格の取得を目指す。1997年に日本ソムリエ協会の認定するソムリエ資格を受験年齢最年少で取得、日本ソムリエ協会東北支部役員に就任。

北海道のワインと食、観光の魅力とワイン産地としての可能性に惹かれ、北海道ワイン株式会社の嶋村会長に手紙を書き、2000年3月16日に北海道に移住。北海道のワイナリーで初のソムリエとして勤務。2005年にシニアソムリエ資格ならびに北海道フードマイスターを取得したことにより、道産ワインに精通したスペシャリストとして2006年に「北海道らしい食づくり名人」(北海道庁)に認定。2009年に官民連携により設立された「北海道ワインツーリズム」推進協議会において事務局長を務め、自社だけではない道内ワイナリー全体の知名度と評価を高めるとともに、観光と食と融合した北海道らしいワイン文化の創造への挑戦をスタート。

ワインと食という専門性に高度な経営知識を付加し、新規な事業開発を担う能力を身につけることを目的として、小樽商科大学夜間主コースならびに大学院アントレプレナーシップ専攻で社会人学生として6年学び、2012年3月にMBA(経営学修士)の学位取得。

「シニアソムリエ×MBA×北海道フードマイスター」という日本唯一の存在として、北海道にワイン文化の創出ならびに経済発展と地域振興に貢献したいという想いを実践するため、13年間勤務した北海道ワイン株式会社ならびに道産ワイン懇談会の理解と応援のもとに、2013年に「NPO法人ワインクラスター北海道」を設立しました。

多くの民間企業、団体の研修・セミナー等で年間50件以上の講演実績があり、これまでの主な講演内容として、「いま、もっとも注目のワイン産地 北海道」、「ワインと食、観光のマッチングによる地域活性化」など。資格と任命は、シニアソムリエ、ソムリエ(日本ソムリエ協会)、北海道フードマイスター(札幌商工会議所)、小樽ふれあい観光大使(小樽市)など。

(NPO法人ワインクラスター北海道のwebsiteから紹介させて頂きました)

実行委員会

顧問

原田昭 (札幌市立大学)

実行委員長

成田吉弘 (北海道大学)

プログラム委員長

李美龍 (北海道大学)

実行委員メンバー

魚住超 (室蘭工業大学)
及川雅稔 (北海道立総合研究機構)
大島直樹 (北海道情報大学)
大淵一博 (札幌市立大学)
柿山浩一郎 (札幌市立大学)
片山めぐみ (札幌市立大学)
川上敬 (北海道工業大学)
工藤康生 (室蘭工業大学)
城間祥之 (札幌市立大学)
須藤秀紹 (室蘭工業大学)
田中孝之 (北海道大学)
張浦華 (札幌市立大学)
鳥宮尚道 (札幌大谷大学)
蓮見孝 (札幌市立大学)
細谷多聞 (札幌市立大学)
村井哲也 (北海道大学)
李知恩 (北海道教育大学)

(五十音順)

日本感性工学会事務局

上野直美
青木ひとみ

主催

日本感性工学会

後援

北海道大学 大学院 工学研究院

協賛

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

マルチセンサー生理計測システム NeXus

筋電図、脳波、容積脈波などの様々な生体信号を計測でき、リアルタイムに解析できます。



■リアルタイム解析例



交感神経・副交感神経成分の比率をリアルタイムモニタ

■他システムとの連携例



ナックイメージテクノロジー社
視線計測 (EMR) との同期計測



モザイク処理ツール Mosaic Plus

学会発表や 社外プレゼンなどの 個人情報保護が必要な動画に
簡単にモザイクを追加します

モザイクプラス

検索

ホームページから試用版をダウンロードできます。
是非、モザイクプラスをお試しください。

■ソフトウェア仕様

入力ファイル mpg, avi, mod, wmv, ramファイル
出力ファイル avi, wmv, mpg, mp4, movファイル
OS WindowsXP/Vista/7
定価 29,400円 (税込) ~

お問い合わせ窓口

 **キッセイコムテック株式会社**
医療ソリューション部

本社 〒390-1293 長野県松本市和田4010-10
TEL:0263-40-1122 FAX:0263-48-1284
Email motion@comtec.kicnet.co.jp
URL <http://www.kicnet.co.jp/>